

*mormonandgay.lds.org* より

**どうして「同性にひかれる〔Same-sex attraction (SSA)〕」という言葉を使用するのでしょうか？ どうして「ゲイ」と言わないのですか？**

「同性にひかれる (SSA)」とは、同性の人に感情的、肉体的、ロマンチックに、あるいは性的に引き付けられることを指します。同性に心をひかれる気持ちがある場合、自分自身について述べるのに性的指向の呼称を用いることもあれば、そうでないこともあるかもしれません。いずれにしても、「同性にひかれる (SSA)」とは、そのような呼称を付けることなく表現するための専門用語です。このウェブサイトでは、ゲイ、レスビアン、あるいはバイセクシュアルの認識を否定することなく、そのような呼称を用いることを心地よく思わない人々を包括するためにこの用語を使用します。

**ウェブサイトに性別違和やトランスジェンダーの問題が採り上げられないのは、なぜでしょうか？**

このウェブサイトで紹介される一般的な原則の多く（多様性を受け入れることや思いやりを示すことの重要性など）は、性別違和を感じる末日聖徒やトランスジェンダーと自認する末日聖徒にも適用されます。しかし、同性にひかれることと性別違和は非常に異なっています。例えば、性別違和を感じる人は、同性にひかれる気持ちを感じることもあれば、そうでないこともあります。また、同性にひかれる気持ちを感じる人々の大多数は、自分の性別を変えたいとは思っていません。心理的また教導的観点から、この二つは異なっています。

**自分はゲイかもしれないと自問しているのですか？**

自分はゲイかもしれないと自問しているのであれば、恐らくあなたは同性にひかれる気持ちを感じたことがあって、その気持ちをどう解釈したらいいのかと思いつらしているのでしょうか。性的欲求は複雑であり、多くの要因から影響を受けます。ロマンチックに、感情的に、あるいは性的にひかれることは性的指向を示唆するものである可能性があるとはいえ、そうだと決めてかかってはなりません。性的欲求は流動的で変わりやすいものです。疑わしいと思っても、プレッシャーを感じたり、性的指向について結論を出すようせかされていると感じたりするには及びません。

言葉の持つ意味は人によって様々に異なり、また言葉の定義はわたしたちの生涯でよく変わることがあります。あなたにとって、「ゲイ」という言葉はどのような意味があるのでしょうか。それは気持ちでしょうか。アイデンティティーでしょうか。ライフスタイルでしょうか。「ゲイ」という言葉の使い方は、社会や文化の変化に応じて変わってきました。ゲイを自認することは、同性にひかれる気持ちを感じつつも、その気持ちを行動に移さないという選択であるかもしれません。あるいは、この呼称は、感情的、肉体的、性的、または政治的に自分自身を表現するものであるかもしれません。「わたしはゲイです」と言う人がいる場合、それがどのような意味か分からなければ、その人に尋ねてください。

**わたしはカミングアウトすべきでしょうか？**

同性にひかれる気持ちを内に秘めていると、恥辱感を抱いたり、心の中で自分に否定的に語り掛けてしまうようになる人々があります。信頼できる友人に気持ちを伝えると、解放感と癒しを得ることができます。しかし、中にはもっと待ってからにすればよかったと思う人や、少なくとも気持ちを打ち明ける相手の人数を制限すればよかったと思っている人もいますので、公に「カミングアウト」したり、あるいはゲイであることを率直に認めるよう

にというプレッシャーに屈してこの決断を下すというようなことをしてはなりません。同性にひかれる気持ちを打ち明けようと決心したら、祈りの気持ちをもってそのことを話したい相手について、また現世におけるこの経験を伝える方法について考えてください。

同性にひかれる気持ちについての経験を伝えようと、あるいはゲイであると率直に認めようと決心するとき、あなたは家においても教会でも、思いやりと敬意のあるサポートや対応を受けるべきです。わたしたちは皆、状況を理解しながら、互いに忍耐強くある必要があります。

教会員であるわたしたちは皆、すべての兄弟と姉妹のために協力的で愛にあふれた環境を作り出す責任があります。このようなサポートネットワークは、福音に従って生活するのをさらに容易にしたり、死すべき世であらゆる状況にあっても御霊を求めるのをもっと容易にします。

### **同性にひかれることについて両親やビショップにどう話せばよいでしょうか？**

親や家族の一員、教会指導者と気がねなく話せるようであれば、あなたの気持ちを伝えることを考えてみてください。あなたが経験していることを理解すれば、彼らは愛を示し、サポートしてくれるでしょう。この経験がどういうものであるかを彼らが理解していなければ、このウェブサイトの記事を読んでもらってください。このことを切り出すのは容易ではないかもしれませんが、対話を始めることが重要です。周りの人々に忍耐強くあってください。そして、みんな一緒に学んでいるということ覚えておいてください。あなたの愛する人々が理解したり、協力的になることに苦しんでいる場合は、あなたが助ける必要があるかもしれません。自分が示してもらいたいと思うような思いやりを持ち、親や指導者に敬意をもって接してください。このウェブサイトの目的は、同性にひかれることについて、福音の観点からもっとよく理解できるようにすべての人を助けることです。

### **十分に忠実であれば、同性にひかれるわたしの気持ちは消え失せるでしょうか？**

同性にひかれる気持ちの強さはあなたの忠実さの度合いを計るものではありません。多くの人が、従順であろうとして何年間も祈り、自分が行えるすべてのことを行っています。それでも同性にひかれます。同性にひかれる気持ちの強さは様々であり、すべての人が同じではありません。男性と女性の両方にひかれる人もいれば、同性だけにひかれる人もいます。同性にひかれる気持ち、あるいは少なくともその感情の強さが、徐々に弱くなる人もいます。いずれにせよ、親や指導者は、結果として同性にひかれる気持ちが変わることを期待したり、求めたりしてはなりません。

同性にひかれる気持ちの強さはコントロールできないかもしれませんが、その気持ちに対してどう行動するかについては選択することができます。この経験から何を学ぶことができるか、またこれを自分の力とするにはどうすればよいか主に尋ねることで、あなたは自分でコントロールすることができる結果に信仰を集中することができます。あなたの生涯を主に託すことは信仰の証となる重要な行為であり、それによって現世で大いなる祝福が、そして来るべき世でさらに大いなる祝福がもたらされます。

### **教会は将来、教義を変えて、同性婚を認めるようになるでしょうか？**

神の計画の中核を成す男女の間の結婚の教義は、末日聖徒イエス・キリスト教会の必須の教義であり、今後も変わりません。

「聖典に基づく教義上の原則として、教会は、男女の間の結婚は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画にとって重要であることを断言している。

性的な関係は、夫婦として合法的かつ正当に結婚した男女の間でだけ適正とされるものである。それ以外の性的関係は、同性同士も含め、神聖に創造された家族制度を損なうものである。したがって、教会は、結婚とは男性と女性の間で合法的かつ正当な結びつきであるという定義を確認している。」(『手引き 第2部—教会の管理運営』 21.4.10)